



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年2月14日

上場会社名 エンカレッジ・テクノロジー株式会社

上場取引所 東

コード番号 3682 URL <https://www.et-x.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 進也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 飯塚 伸

TEL 03-5623-2622

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	1,547	2.7	126	55.1	125	55.3	84	56.9
2022年3月期第3四半期	1,507	15.2	281	230.0	281	223.0	196	168.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	12.68	
2022年3月期第3四半期	29.44	

(注1)「1株当たり四半期純利益」は信託口が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めて算出しております。

(注2)「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	4,228	3,252	76.9
2022年3月期	4,442	3,292	74.1

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 3,252百万円 2022年3月期 3,292百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		18.00	18.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				18.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,400	16.0	350	0.5	350	0.5	250	0.6	37.54

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	6,924,200 株	2022年3月期	6,924,200 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	263,832 株	2022年3月期	263,832 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	6,660,368 株	2022年3月期3Q	6,660,368 株

(注)「期末自己株式数」には、信託口が保有する当社株式が含まれております。また、「期中平均株式数」の計算において控除する自己株式数には信託口が保有する当社株式の期中平均株式数が含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大と縮小を繰り返すものの企業の経済活動に対する制限がかけられることもなく、正常化への兆しが見られました。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻に端を発する物価の高騰やインフレ懸念、世界各地で見られる地政学的リスクの高まりによって、景気の先行きは不透明な状況が続いております。こうした中でも、当社が属する国内のソフトウェアプロダクツ市場の売上高は14ヶ月連続前年同月比増加を続け、積極的なソフトウェア投資が継続しております。(経済産業省2023年1月20日特定サービス産業動態統計調査(2022年11月分確報))

このような状況のもと、当社は、「顧客ターゲット別の営業推進」「ソリューション強化」「新人事制度定着による生産性向上」を重点施策に掲げて事業に取り組んでおります。

営業面においては、顧客ターゲット別の営業推進施策として、営業4部門による営業活動強化や担当SEのバーチャル組織化により販売体制を充実させております。また、イベント出展やオウンドメディア拡充などのマーケティング活動にも注力しており、新規営業リード獲得や認知度向上に努めております。

製品開発面では、昨年度から研究開発投資を行っていた主力製品である「ESS REC」の大幅な機能強化(次世代型システム証跡管理製品)とAIを搭載した本人確認によるなりすまし防止機能開発のプロジェクトにおいて、主要な機能実装が完了し、テストフェーズに移行しております。これによりソリューション強化のひとつとして、本年3月に最新版の「ESS REC 6」を発売いたします。本製品は、OSに依存しないプラットフォームの採用による永久サポートや大幅な管理・運用性の向上を実現するとともに、システム操作者の常時認証や操作環境の監視・記録により、在宅を含めたさまざまな場所から安全にシステム運用やリモート保守運用など重要システムへのアクセスが可能になりました。また、ソリューション強化のふたつめとして特権ID管理製品「ESS AdminONE」はAPI拡張により管理対象を拡大することで競争力強化を図っておりますが、昨年11月の新オプション販売開始に続き、本年3月に新バージョンを発売いたします。

製品開発にあたっては、一時的に協力会社社員の大幅な増員を行いましたが、新しい人事制度を活用することでオフィスの増床も行わず、フレキシブルな労働時間を有効に利用いたしました。

当社の当第3四半期累計期間における経営成績は次のとおりであります。

当第3四半期累計期間におけるライセンス売上は、主力製品「ESS REC」が国内市場において13年連続市場シェア1位を獲得したものの、前年同期にあった大型案件の反動により減少した影響で、前年同累計期間比では18.2%減少しました。コンサルティング売上については特権ID管理製品を中心としたサービスが大きく伸びたことにより前年同累計期間比で28.7%増加し、ストックビジネスである保守サポートサービス売上も引き続き順調に増加しております。なお、現時点で当期における保守サポートサービスの更新率は95%を超えて引き続き堅調に推移する見込みです。これにより、売上高は1,547,953千円(前年同期比2.7%増)、売上総利益は1,000,358千円(同4.7%増)となりました。

一方、販売費及び一般管理費においては、主力製品である「ESS REC」の大幅な機能強化(次世代型システム証跡管理製品)とAIを搭載した本人確認によるなりすまし防止機能の2つの新製品開発プロジェクトによる投資や機能拡張などを期初計画どおりに実行したことにより、研究開発費が前年同期比205,205千円増の294,194千円と大幅に増加しました。なお、売上高に対する研究開発費率は19.0%(前年同期比13.1ポイント増)となっております。この結果、営業利益は、126,293千円(前年同期比55.1%減)、経常利益は125,623千円(同55.3%減)、四半期純利益は84,457千円(同56.9%減)となりました。

当第3四半期累計期間における製品・サービス区分別販売実績

(単位：千円)

製品・サービスの名称	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	増減率 (%)
うちESS REC	294,238	214,339	△27.2
うちその他ライセンス	128,920	131,874	2.3
ライセンス	423,159	346,214	△18.2
保守サポートサービス	885,263	967,493	9.3
クラウドサービス	60,968	64,789	6.3
コンサルティングサービス	109,225	140,542	28.7
SIO常駐サービス	16,137	17,667	9.5
その他	12,805	11,246	△12.2
合計	1,507,559	1,547,953	2.7

(注) その他の主なものはSEER INNERのタームライセンス及び保守、レンタル売上等であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ213,997千円減少し、4,228,433千円（前事業年度末比4.8%減）となりました。主な減少要因は法人税等の支払及び賞与支給等に伴う現金及び預金の減少286,495千円、主な増加要因は無形固定資産に含まれるソフトウェアの増加105,235千円によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ173,329千円減少し、976,236千円（前事業年度末比15.1%減）となりました。主な減少要因は、未払法人税等の減少138,964千円、賞与支給に伴う賞与引当金の減少101,448千円、主な増加要因は保守サポートサービス売上に係る前受金（契約負債）の増加94,698千円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ40,668千円減少し、3,252,196千円（前事業年度末比1.2%減）となりました。主として利益剰余金の配当による減少120,865千円、四半期純利益84,457千円の計上によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績につきましては、引き続き国内外の景気動向にリスクが存在しておりますが、2022年5月12日に公表した通期業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,736,436	3,449,941
売掛金及び契約資産	163,074	172,530
前払費用	50,538	53,775
その他	1,368	2,518
流動資産合計	3,951,419	3,678,766
固定資産		
有形固定資産	38,913	30,563
無形固定資産	122,378	227,614
投資その他の資産	329,719	291,488
固定資産合計	491,011	549,667
資産合計	4,442,431	4,228,433
負債の部		
流動負債		
買掛金	51,776	58,243
未払金	46,227	51,306
未払法人税等	144,301	5,337
契約負債	634,742	729,441
賞与引当金	152,666	65,217
役員賞与引当金	14,000	-
預り金	6,344	19,967
その他	67,637	14,606
流動負債合計	1,117,696	944,120
固定負債		
退職給付引当金	1,150	1,200
従業員株式給付引当金	1,000	1,200
資産除去債務	29,719	29,716
固定負債合計	31,869	32,116
負債合計	1,149,565	976,236
純資産の部		
株主資本		
資本金	507,386	507,386
資本剰余金	489,386	489,386
利益剰余金	2,502,280	2,465,872
自己株式	△217,979	△217,979
株主資本合計	3,281,073	3,244,665
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,791	7,531
評価・換算差額等合計	11,791	7,531
純資産合計	3,292,865	3,252,196
負債純資産合計	4,442,431	4,228,433

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	1,507,559	1,547,953
売上原価	552,446	547,594
売上総利益	955,112	1,000,358
販売費及び一般管理費	673,749	874,065
営業利益	281,362	126,293
営業外収益		
受取利息	28	30
助成金収入	647	-
未払配当金除斥益	37	147
雑収入	109	2
営業外収益合計	824	180
営業外費用		
障害者雇用納付金	1,150	850
その他	16	0
営業外費用合計	1,166	850
経常利益	281,020	125,623
税引前四半期純利益	281,020	125,623
法人税、住民税及び事業税	96,395	403
法人税等調整額	△11,454	40,762
法人税等合計	84,940	41,166
四半期純利益	196,080	84,457

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、「パッケージソフトウェア事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。